

1000号のあゆみ

B4判



創刊号

(昭和25年6月発行)

市政はこだて創刊にあたって当時の宗藤市長は「市政はこだてを発刊し、これを全市各戸に配布して市政のあり方を全市民に徹底し、その理解と協力によって明朗にして住み心地のよい大函館市の実現を期せんとする」と書いています。

B4判



100号

(昭和29年10月発行)

この年の9月26日、台風15号が北海道を襲い、青函連絡船洞爺丸などが沈没したほか、被害は市内だけでも全壊、半壊など合わせて24,238棟にのぼりました。この台風の経験から「台風 안전한家屋」を特集しました。

B4判



200号

(昭和35年4月発行)

函館市は「し尿」の海中放流を計画し、昭和31年から準備調査に入りました。その後、沿岸資源に対する被害を懸念する声が出たため、さらに詳しい科学調査をし、35年2月、中間報告がまとまったことから、この結果を一面で詳しく掲載しました。

A4判



300号

(昭和42年2月発行)

この年の冬は大雪と寒波が函館を襲い、1月5日には函館市が始まって以来という大雪対策本部が設置されました。市内で最も多く雪が降ったのは1月4日から5日にかけてで、この日だけで42cmも降り市内の交通はまひ、一方寒波も1月15日夜にはマイナス17.3度を記録、700件以上もの水道修理の申込みがありました。二面では、この時の除雪、凍結修理の状況や冬を乗り切る対策を掲載しました。

タブロイド判



400号

(昭和48年9月発行)

三面で、建設を進めていた保健所と衛生試験所の合同庁舎が10月1日から業務を開始するため、この規模や設備を紹介しました。また、この年の12月、函館市と亀田市が合併しましたが、四、五面で両市の合併にあたって具体的問題を協議した「函館市亀田市合併協議会」で合意した23の協議事項と合意内容を掲載しました。



市政はこだて

特集

市政情報

健康情報

講座・教室案内

暮らしのご案内

(昭和56年6月発行)

500号

市民の皆さまに電車・バスを利用していただくため、毎月1日を「電車・バスに乗る日」と定め、さまざまな行事が行われました。二面では、カラー電車・カラーバスの運行や一日交通局長の委嘱などの具体的な活動について掲載しました。

タブロイド判



タブロイド判

(平成元年5月発行)

600号

この年の2月に、函館市と青森市のツインシティ交流について「市長への提言」を実施し、110人の方から延べ129件のご提言をいただきました。その集計結果がまとまったことから、二面で詳しく掲載しました。

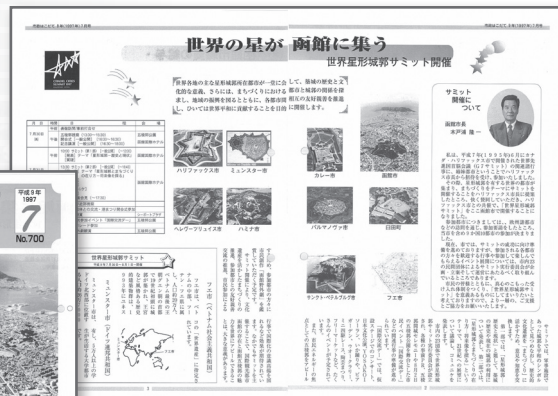


(平成9年7月発行)

700号

この年の7月、函館市で世界各地の主な星形城郭所在都市が一堂に会し、「世界星形城郭サミット」が開催されました。当時の木戸浦市長はサミットの開催について「市民の皆さまとともに、真心のこもった受け入れ体制をつくり、意義あるものにしていきたい」と書いています。

A4判



(平成17年11月発行)

800号

この年の11月、五稜郭町に現在の中央図書館が開館し、2～4ページではその規模や設備について詳しく紹介しました。

A4判



(平成26年3月発行)

900号

高齢者などが安心して暮らせるまちづくりに向けて、日吉4丁目団地跡地に民間活力を活用し、住まいや医療、介護、生活支援を一体的に提供する「福祉コミュニティエリア」の整備に関する基本的な考え方について掲載しました。

A4判



A4判



編集後記

今回、市政はこだてが1000号の節目を迎えましたので、創刊号が発行された昭和25年から現在までの足跡を100号ごとにご紹介しました。これからも、よりよい広報紙づくりに努めてまいりますので、今後も市政はこだてをよろしくお願いたします。
お問合せ 広報広聴課 ☎21-3631